

この声が
“ただのアンケート”で
終わらないように。
仕組みをつくる一歩として。

持ち帰り仕事が 当たり前

で、やっと成り立つ
保育現場が
今、必要な支援とは

現場の実態調査と、民間連携による課題解決の提案



STUDIO KUMO ホームページ：S-KUMO.com
サービス内容の詳細や、会社概要を掲載
お申し込みもこちらからできます



オフィシャルLINE：@796kvxpe
こちらから直接データなどをダウンロード可能
現在700名以上の先生方が登録中！（2025年6月）



Instagram：@STUDIOKUMO.OFFICIAL
先生たちが無料でダウンロードできるデータや
毎日の連絡ノートなどに使える文例を投稿

studio♦kumo
info.

株式会社 Fast Creative

代表取締役 和田真希

〒600-8815

京都府京都市下京区中堂寺栗田町 93

KRP4 号館 3 階 KRP BIZ NEXT

070-1308-4665

Email：kumo@fast-creative.com

会社HP：www.fast-creative.com

studio♦kumo

株式会社 Fast Creative

発行日：2025 年 6 月 1 日

先生たちが
“子どもと向き合う時間”を守るために、
犠牲にしているものがある――



アンケート*を通じて見えてきたのは、
現場の静かな叫びでした。

勤務時間外に制作や事務作業を行うのが当たり前になり、
賃金は支払われず、プライベートの時間も削られている。

実際に、全国の保育者 62 名に実施したアンケートでは、
90% が **勤務時間外にも仕事をしている** と答え、
そのうちの

半数以上 が **その作業には賃金が支払われていない** と回答しました。

それでも先生たちは、子どもたちの笑顔を守るために
働き続けています。

でも、このままで本当に良いのでしょうか？

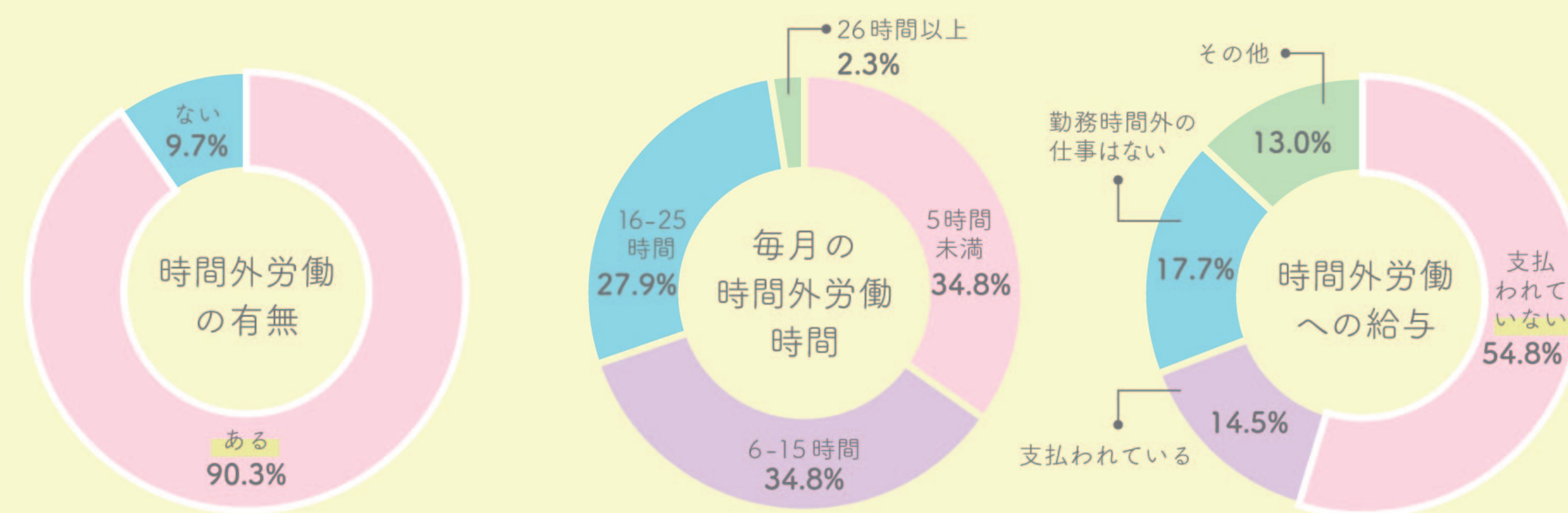
この冊子は、そんな保育現場のリアルな声と、
その問題の解決策の提案を届けるため、
先生方と共に作成したものです。

*2025 年 5 月 実施「大変さを知ってもらおう」アンケート
保育園、幼稚園、認定こども園、院内保育所などに務める保育者による回答

数字で見る保育現場

先生たちは、保育のプロフェッショナルであると同時に、
事務、制作、掃除、雑務の担当者でもあります。

今回、私たちは保育者 62 名にアンケートを実施し、
勤務の実態や業務内容を数値で可視化しました。
一人ひとりの努力の積み重ねで保育現場は
成り立っていますが、それは時に“見えない負担”となり、
生活や心身を圧迫しています。
以下は、その実態を示す結果の一部です。



数字から見えること

- ✓ 90% が勤務時間外の作業あり
- ✓ 16 時間以上／月の残業も複数名
- ✓ 54.8% 以上がその作業に賃金が支払われていない

書類（保育計画など）も大切なことばかりだが、
勤務時間内ではまず目の前の子どもたちへの
安全な保育が最優先となるためなかなか抜けられない。
また、制作などを充実させようとするすると残業もしたいが、
上司からはいい顔されず結局持ち帰ってコツコツと
やることになる。そんな保育士がほとんどだと思う。
[埼玉県 / 51 歳 - / 保育園勤務]

勤務時間外の仕事

保育の仕事には、いったい
どんな内容があると思いますか？

子どもと遊ぶこと、食事のサポート、お昼寝の見守り——たしかに、それも保育の大切な一部です。でも実際には、“見えない仕事”が、想像をはるかに超えて、先生たちの日常を占めています。

先生たちは勤務時間外に何をしているのか。
そして、それが意味することとは何なのか。
このページでは、その一端を、先生方の声とともにご紹介します。

勤務時間外の仕事

これは、ほんとうに
ごく一部です。

書類作成

日々の連絡ノート・月案・週案・保育記録・
児童票・シフト表作成・保育環境整備・
環境構成・行事計画・毎月のクラスだより・
保健だより・食育案・会議の議事録作成・
個別記録・保護者との面談記録・
避難訓練関係の書類作成・
園内研修書類・個人ポートフォリオ・
保育ドキュメンテーション作成・など

制作準備

製作や壁面装飾の検索や案を考える・
画用紙など必要なものの買い出し・
カッティング・など

行事準備

シナリオ作成・運動会のBGM作成・
使用する買い物・台本作成・衣装作成・
小道具・大道具作成・など

イベントの大型の製作物の立案と経費計算

配慮の必要な子への準備

長期休みにはクラスで育てている野菜の水やり

卒園アルバムの確認

教材の在庫管理、発注

手作りおもちゃの作成

保護者対応

掃除

視覚補助作成

写真掲載

写真整理

写真現像

ピアノ練習

会議準備

備品整理

研究

文化財作り

ラミネート作業

先生たちの 声

園の装飾物や製作物は別にやらなくても、保育に支障はないが、
保育の質を上げるためにはやらざるを得ない。それを勤務時間内
するには、どうしても優先順位をつけると後回しになってしまい、
家でもできる作業なのでやってしまう。
[兵庫県 / 31 - 35 歳 / 保育園勤務]

時間外労働、持ち帰り仕事が当たり前（という）
状況について（行政などに）知っていて欲しい。
[愛知県 / 26 - 30 歳 / 保育園勤務]

勤務時間外にやるのが当たり前
になっている。誰も言える環境ではない。
監査上は時間外労働していないこと
になっている。
[静岡県 / 51 歳 - / 保育園勤務]

書類を減らして欲しい。パソコン導入に
伴う教室の確保、そしてそれが時間外で
ない様に保育士の補填
[栃木県 / 41 - 45 歳 / 保育園勤務]

子どもがいる保育士は残業がなかなかできず、時間
に余裕がないので、業務を削減してほしい
[茨城県 / 31 - 35 歳 / 保育園勤務]

子どもの命を預かっているため、安全を考えた時に、自分
より仕事を優先する部分が必ず出てくる。（シフトや休みの
調整、保育計画立案、準備、片付け、など時間外や休日に
作業することで追いつくようにしている）
[宮城県 / 26 - 30 歳 / 保育園勤務]

子どもの面倒だけ見ていると
思われている。もっと責任のある
大変な仕事だと知って欲しい
[広島県 / 46 - 50 歳 / 保育園勤務]

勤務時間外の仕事とは、単なる残業ではありません。それは

「子どもと向き合う時間を守るために、自分の時間を犠牲にして行う仕事」

であり、子どもたちの育ちや安全、保護者との信頼関係を支える、
保育の質を守るための“重要な仕事”なのです。

しかし、それが“無かったこと”として扱われ、給与にも反映されない現状が、
先生たちの心と生活を圧迫しています。

心と生活の限界



持ち帰りの仕事は、

もはや“特別なこと”ではなく、

“当たり前のこと”

材料費や印刷代も自己負担、
家族との時間、自分の時間は後回しにして、
明日の製作の準備・・・
そんな日々が当たり前になっています。

「好きだから」「やりがいがあるから」という
思いに甘え続ければ、
いずれ先生の志も、健康も、
保てなくなってしまいます。

そんな危機感のもとに集まった、
先生たちの声をご紹介します。



先生たちの声

こども誰でも通園制度により、
保護者は子どもを預けられる
ようになり、リフレッシュ出来る
時間が持てるようになったと
思うが、その分保育士の負担は
増えた。
[長野県 / 51 歳 - / 保育園勤務]

休憩はタイムカードから勝手に引かれ、保育室で SIDS チェック、
起きた子の相手をしながらノート書いて、オニギリかパンを齧る。
お弁当は食べられないので食の楽しみさえ奪われている。
勝手に引かれる休憩時間を足すと月に数日はタダ働きさせられて
いる計算になっている。寝ると翌日になるので中々寝れない。が、
起きていても寝不足で翌日に来る。
[千葉県 / 41-45 歳 / 院内保育所勤務]

子育てをしながら働いています。
持ち帰りの仕事があると、自分の子どもと関わる時間もなかなか
とれない、家事が終わってから持ち帰りの仕事をするので自分の
睡眠時間や自由時間がとりにくいのが現状です。
[栃木県 / 31 - 35 歳 / 保育園勤務]

現場の職員人数に対して、個別対応を必要とする子の
人数が合わないです。クラスの中で加配とまでは
いかないが、個別での対応を必要とする子が複数いる
のが現状。そのため、本来は午睡時間を利用して
事務作業をするのが好ましいが全く仕事が出来ず、
また休憩もままならない日も良くある。この中で一人
一人の大切な命を預かる中で気持ちを休ませる時間も
なく常に気を貼り続ける毎日は正直きついです。
また、保護者からの過度なクレームもそういう所から
繋がってきています。
[東京都 / 41 - 45 歳 / 保育園勤務]

保育以外の保護者支援などの責任、批判などに
疲弊している。それに加え時間外の仕事や、
配置基準のおかしさに疲労困憊している
[大阪府 / 46 - 50 歳 / 保育園勤務]

基本給が上がらず、10 年目なのに手取りが
基本給を下回っているため生活が苦しい。
担任の負担が多い中、給料と業務内容が
見合っていない
[神奈川県 / 26 - 30 歳 / 認定こども園勤務]

これらの声は、「好きで選んだ仕事」だからこそ、
苦しさを語りにくい保育士たちの本音です。
心も体も限界に近づいている今

「仕組みの改善」が求められています。

先生たちの 保育に集中したい という想いを 私たちが形にします



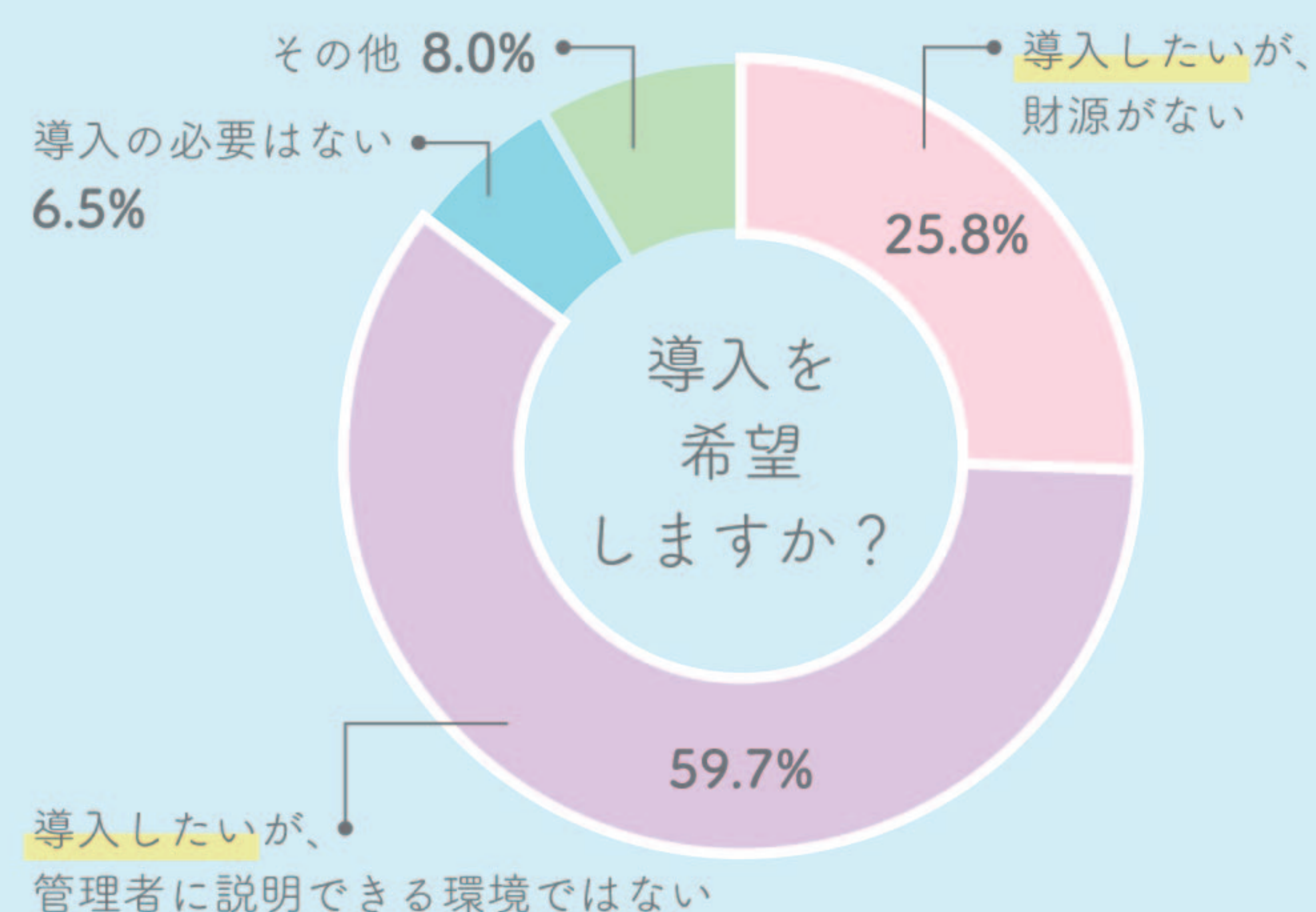
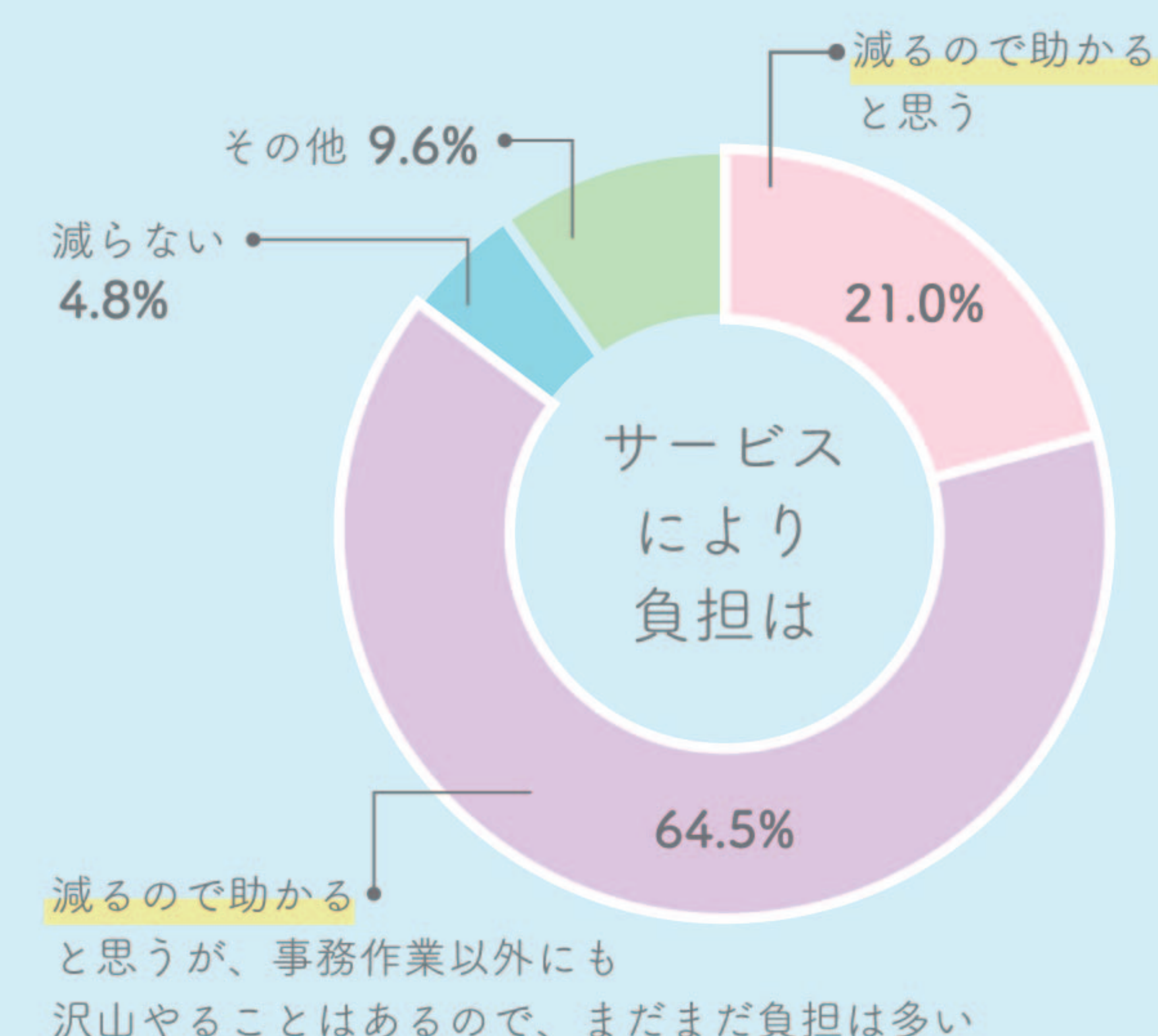
KUMO+assist+service

は現役先生達の声からうまれた 仕組み改善の為のサービスです。

KUMO+assist+service とは？

忙しい先生たちの努力に代わって、制作・カッティング・印刷・資料作成などの“非・保育業務”を引き受ける アウトソーシングサービス。

アンケートでは、「KUMO アシストサービスを導入できれば、先生方の負担が減ると思いますか？」という問いに、85.5%の先生が「減るので助かる」と回答しました。



また、「導入したいが、財源がない」「管理者に伝えにくい」という声も多く寄せられています。

実際、どれほどの勤務時間外の仕事をアシストサービスが お手伝いできるのか？

黄色いハイライトが、アシストサービスが
お手伝いできる労働です。

このほかに、ホームページの制作・更新、ポスター作成、緊急に作成しなくてはいけなくなったおたより、オリジナルグッズの作成など、柔軟に対応いたします。

そのほか「運動会の様子をパスワード付きでYouTubeにアップしたい」「プリンターが園にないので、印刷をお願いしたい」などにも対応できます。

書類作成	イベントの大型の製作物の立案と経費計算
日々の連絡ノート・月案・週案・保育記録・児童票・シフト表作成・保育環境整備・環境構成・行事計画・毎月のクラスだより・保健だより・食育案・会議の議事録作成・個別記録・保護者との面談記録・避難訓練関係の書類作成・園内研修書類・個人ポートフォリオ・保育ドキュメンテーション作成・など	配慮の必要な子への準備
制作準備	長期休みにはクラスで育てている野菜の水やり
製作や壁面装飾の検索や案を考える・画用紙など必要なものの買い出し・カッティング・など	卒園アルバムの確認
行事準備	教材の在庫管理、発注
シナリオ作成・運動会のBGM作成・使用する買い物・台本作成・衣装作成・小道具・大道具作成・お誕生カード・など	手作りおもちゃの作成
	保護者対応
	掃除
	視覚補助作成
	写真掲載
	写真整理
	写真現像
	ピアノ練習
	会議準備
	備品整理
	研究
	文化財作り
	ラミネート作業

このサービスは、現場の課題から生まれた、“保育の質”と“働きやすさ”を両立させる一つの答えです。

先生の声を、 支援につなげてください

保育現場の先生たちは、日々
「子どもと向き合いたい」
という思いを持ちながら、
多くの時間を
「保育以外の業務」
に割かれています。

その結果

持ち帰り残業・休憩時間ゼロ・離職の増加

といった深刻な課題が、現場に広がっています。

STUDIO KUMO は、そうした負担の軽減を
目的に、制作・印刷・準備物などを代行する
「KUMO アシストサービス」を開発しました。

この取り組みを、ぜひ貴自治体の中で

“現場の課題に対応する一つの支援モデル”

としてご検討いただけないでしょうか？



ご協力いただきたいこと

地域の保育施設への情報紹介

広報誌や Web、園長会議でのご紹介
パンフレット・ポスター掲示のご協力

モデル導入のご検討

1 園のみでも構いません。
パイロット導入を通じ、実証・報告をご提出いたします。

助成対象事業としてのご相談

一部費用を自治体側で負担することで、
先生が「気軽に使える」仕組みへと近づきます。

「今ある制度の範囲内」でできる工夫から、
「次の制度設計」につながる取り組みへ。
地域の保育士さんたちが、もっと笑顔で働ける環境を、
一緒につくっていただけたら嬉しいです。

先生が元気で
うれしいよね！

お問い合わせ

kumo@fast-creative.com

070-1308-4665

導入の流れ・効果イメージ

導入の流れ



効果イメージ*

BEFORE

夜間に大量のカッティング作業

休憩をとらず、情報検索&レイアウト

残業時間が月 16 時間以上

賃金対象外のことも

子育てしながらフルタイムは無理

子どもに向き合う時間が短くなり、準備に追われる

AFTER

制作物の準備作業が大幅削減！

保育計画や子どもとの関わりに集中できる！

業務満足度アップ！

休憩がとれる！

これなら子育てしながら働ける！

より良い保育に向けて、スキルアップ・研究に取り組める！

* ヒアリング内容と先生方の声をもとに構成した「効果イメージ」です。

“支援したいのにできない” 変えなければいけない現実

保育現場には、「支援したい」「改善したい」という思いがあっても、制度や仕組みの壁により、実現できないケースが数多くあります。

よくある現場の声

導入したいけれど、園の予算でまかなえない

ICT 導入は支援対象だけど、制作支援は対象外だった

園長に話しても“申請が難しい”
“前例がない”で終わってしまう

「今まで、できてたでしょ？」
「甘えじゃない？」と言われ、
そもそも変わる気がない。

背景にある現実

「働き方改革」は語られていても、現場では“手が足りない”問題が未解決

補助金や制度は「設備」「ICT」中心で、「人の手間や時間」の外注に対応しきれていない

現在、ただでさえ忙しい中、制度の申請・運用が複雑で、現場が十分に活用しきれていない

保育現場には、いまだに旧来の体質や精神論が根強く残っており、「外部に頼るのは甘え」「自分たちで何とかすべき」という価値観が、制度の柔軟な導入や外部連携を妨げている

私たちは、制度で拾いきれない領域を支える、民間の小さな伴走者です。

先生たちの声を“見える化”し、必要な支援のあり方を提案する役割を担いたいと考えています。

先生たちの活動や目標を達成するために支援やサポートをします！



支援の仕組みを整えるには、現場の声と、制度設計をつなぐ存在が必要です。
この冊子が、その一歩になることを願っています。

聞こえますか？先生たちの声

「各自治体や保育士会・保育園連盟、こども家庭庁に、保育者のワークライフバランスについて知ってほしい事がありますか？」という質問を投げかけると、こんなに沢山の声がかえってきました。

保育園で副園長をしています。先生方は日々愛情をもって責任以上の働きをしています。先生達のチームワークもあり子ども達にとっては良い人的環境であると自負しています。ただ今後頑張っていけるのか、、、それはやはりお給料です。このお給料ではやりがいをもてなくなります。特にボーナスもなく、好きな仕事なのに考えてしまいます。
[茨城県 /51 歳 - / 保育園勤務]

保育の準備品が自腹になってしまうことが多い。
[宮城県 /21 - 25 歳 / 認定こども園勤務]

業務の大変さ。命を預かっていて、書類をして、保護者対応まで。
[鹿児島県 /26 - 30 歳 / 認定こども園勤務]

処遇改善手当をマイナンバー制度等を利用して直接支給して欲しいです。金額配分や支給時期が園次第で、処遇改善手当が現場の保育士には届いていないことがあります！やりがいの搾取は辛すぎます。
[奈良県 /41 - 45 歳 / 認定こども園勤務]

開園時間が長く、職員の時差出勤の幅が大きくなっている。その為、職員や担任間での意思疎通が難しく、時間外に行っているのが現状である。ノンコンタクトタイムを毎日取れるような人材確保があれば、長時間労働を減らせると思う。
[神奈川県 /41 - 45 歳 / 保育園勤務]

質の高い保育を求めれば時間と人材が必要。タイムパフォーマンスを求められ、質を求められると、どこかに歪みができると思う。
[大阪府 /41 - 45 歳 / 保育園勤務]

給与の低さ（他業種から転職しましたが、月 10 万円下がりました）。ICT 研修の必要性（Excel やパソコンの操作方法に疎い先生が多いため、業務の非効率につながっている）。製作に必要な物の補助金導入（カッティングマシン、ラミネーターなどの購入費用）
[宮城県 /26 - 30 歳 / 認定こども園勤務]

保育士として求められていることに変化があるいま、保育士 1 人あたりの子どもを受け持つ人数を減らすか人員不足を解消するかをしないとなにも変わらないと思う。
[東京都 /26 - 30 歳 / 保育園勤務]

休みの日も仕事をしたり、勤務時間よりも早く行ったりしてなかなかプライベートの時間と分けたりするのが難しいです。
[徳島県 /31 - 35 歳 / 現在は他の職務に従事中]

事務時間の確保がないこと
[北海道 /36 - 40 歳 / 認定こども園勤務]

給料に見合っていない業務内容
[福島県 /31 - 35 歳 / 保育園勤務]

園の装飾物や製作物は別にやらなくても、保育に支障はないが、保育の質を上げるためにはやらざるを得ない。それを勤務時間内でするには、どうしても優先順位をつけると後回しになってしまい、家でもできる作業なのでやってしまう。それを回避する為には、人手が必要である。

そして、子どもから離れる事務作業時間を確保したいのが理想である。命を預かる国家資格の職業であるのに、それに見合った給料ではない。見合った給料であれば、やりがいも多少は感じることができ、人手不足の解消にも繋がると思う。
[兵庫県 /31 - 35 歳 / 保育園勤務]

自分にこどもが居ると、正規職員で働きづらくなる
[福岡県 /26 - 30 歳 / 保育園勤務]

自分の子どもを預けて、他の子どもを保育する矛盾に葛藤する先生が多い。（病欠や行事でお休みをいただくことに対して）
[埼玉県 /26 - 30 歳 / 企業主導型保育園勤務]

行事の縮小化。そのための立案、準備、そして日々の保育…とやる事だらけで家庭を犠牲にしなければならない状況がある。
[大阪府 /46 - 50 歳 / 認定こども園勤務]

誰でも通園制度は本当にやめて欲しい。これがあるせいでもっと仕事が増える。
[東京都 /31 - 35 歳 / 保育園勤務]

人材不足、給与形態
[神奈川県 /31 - 35 歳 / 幼稚園勤務]

仕事に見合った給料が出ない。
[北海道 /36 - 40 歳 / 認定こども園勤務]

休憩時間がゆっくり取れない
[宮城県 /26 - 30 歳 / 認定こども園勤務]

人員配置（特に早朝や延長時など正規職員がいない時間の配置について）
[新潟県 /26 - 30 歳 / 保育園勤務]

休憩も取れないほど日々走り回っている保育士がいる事を知ってもらえればいいなと思います。
[大阪府 /21 - 25 歳 / 保育園勤務]

責任、仕事内容、量とバランス、給料が見合わない。保育士不足、足りておらず希望休みが中々とれない。
[大阪府 /31 - 35 歳 / 保育園勤務]

業務短縮化
[大阪府 /41 - 45 歳 / 幼稚園勤務]

出勤前、後の保護者対応
[千葉県 /41 - 45 歳 / 保育園勤務]

（大変さを）知ってもらいたい。
[茨城県 /36 - 40 歳 / 保育園勤務]

保育士不足
[神奈川県 /31 - 35 歳 / 保育園勤務]

保育士不足
[愛知県 /31 - 35 歳 / 保育園勤務]

保育者不足による残業の多さ
[岡山県 /36 - 40 歳 / 保育園勤務]

現場の声をもっと聞いてほしい、または実際見てほしい。
[東京都 /31 - 35 歳 / 幼稚園勤務]